

なぜ、防災・災害復興対策に女性の視点が必要か

もし、災害が起きたら、

「自宅で介護している夫をどうやって連れ出したらいいだろう」

「共働きで、子どもを一人で家に残すしかない」

「避難所に男女別トイレや更衣室がなかったら・・・」

などなど女性たちの抱える不安や心配は限りなくあります。

女性の視点で防災・災害復興対策を一緒に考えてみませんか！！

第1部 報告

「災害時における女性のニーズ調査」

報告者 特定非営利活動法人イコールネット仙台スタッフ

第2部 講演

「なぜ、防災・災害復興対策に女性の視点が必要か」

講師 相川康子さん 神戸大学経済経営研究所准教授

京都市生まれ、男女雇用機会均等法施行後の一期生として神戸新聞に入社し、社会部、生活部、情報科学研究所、論説委員室などで20年間勤務後、2007年より現職。1995年の阪神・淡路大震災時には生活部の記者として市民による救援活動や女性問題、環境問題などを中心に取材をした。2001年春から6年半にわたり、論説委員として防災や復興まちづくりに関する社説を手がけた。

と き 2009年2月28日(土) 13:30~16:00
ところ エル・パーク仙台セミナーホール (141ビル5階)
参加費 500円
申込・問合せ 090-1375-2871 (網走) まで
申込締切 2月20日(金)

【主催】 特定非営利活動法人イコールネット仙台

特定非営利活動法人イコールネット仙台は、男女平等社会の実現に向け、幅広いテーマに取り組んでいます。